

会 議 報 告 書

会議名	令和5年度 第3回社会教育委員会議	
日 時	令和5年 10 月 25 日(水) 午後1時 30 分から4時 00 分まで	
場 所	三島市民生涯学習センター 3階 講義室	
出席者	社会教育 委員	永倉委員長、足立委員、後藤委員、本持委員、渡邊委員、高橋委員、 前田委員、大澤委員、石井委員、齋藤委員、飯塚委員、吉田委員
	事務局	鈴木教育推進部長、若林生涯学習課長、渡辺図書館長、辻文化財課長、 加藤文化振興課長、星谷係長、堤主事
傍聴人	なし(公開会議、傍聴人定員 2 名)	
項 目	趣 旨	
1 開 会		
2 挨 拶	<p>●教育委員会 教育推進部長より挨拶</p> <p>●社会教育委員 委員長より挨拶</p>	
3 議 事 (報告・協議)	<p>(1) 令和5年度 第2・四半期の経過報告及び 令和5年度 第3・四半期の予定報告 各課長より資料に沿って説明</p>	
委 員	(質問)	
生涯学習課長	生涯学習課12月 2 日家庭教育学級全体講座の参加予定人数は昨年度よりも減 ということだが、減と見込んだ理由を教えてください。	
委 員	調理室を利用する講座であるため、定員上、募集人数を減とした。	
生涯学習課長	低学年の保護者を対象としていると捉えてよいか。	
委 員	構わない。	
生涯学習課長	ここ数年の家庭教育全体講座の参加者の推移についてどのような傾向になっ ているのか。	
委 員	当講座は夏休み等を中心に行っており好評をいただいているが、コロナ禍の影響 により使用施設の定員を2分の1にして開催したため、人数的には図ることが 困難な部分もある。今後は充実した内容にしたい。	
委 員	各学校で行っている家庭教育学級についても日中働かされている保護者が多く、 参加者を募ることが難しい状態であり、PTA役員の動員がないと成り立たない 状態というようなことも耳にする。	

<p>(続き)</p>	<p>土曜日の開催にあたり、子どもの食育に関心の高い人をピンポイントで募集することは良い観点だと思うが、広く多くの保護者に情報を届けるという観点から申し上げると、開催自体のあり方を考えるべきではないか。</p> <p>例えば、PTA連絡協議会では、夜間にオンラインでの開催により、市内小中学校の保護者60人ほどが参加した講座もある。先日は、教職員の協力のもと、「子どもの安全に関する講座」を実施し、市内全21校から約80人が参加した。その中で、ワークショップとしてお互いの悩みを語り合い、次の行動に結びつけるという講座である。家庭教育学級についてもオンラインでの開催も必要ではないか。</p> <p>また、取り扱う課題については、子育てや衣食住はもちろんのこと、昨今話題になった埼玉県のいわゆる“「子ども放置禁止」条例(案)”や、滋賀県での“不登校対策”を巡る問題など、それら問題に対し「保護者としてどのように対応すべきなのか」といった家庭教育における社会課題を積極的に扱うことにより、より多くの保護者が興味関心を持つ可能性もあると考える。</p> <p>もう1点、高校生公開討論会の活動が始まったということに関して、非常に良い取組だと感じ、高い関心を持っている。私自身もFA教育コーディネーターとして、様々な高校の生徒にアドバイスをするという活動をここ数年行っている。公の場に出ると、高校生が大人の目や評価を意識してしまい、高校生らしくないプレゼンテーションになってしまうことがある。可能な限り高校生が自分の意見や本音をぶつけ合うことができるようなファシリテーション、雰囲気づくりを心掛けていただきたい。当日その声を聞き、大人が気付きを得るといった場にしていただければと思っている。</p>
<p>委員</p>	<p>第2回図書館講座は大変好評だったとの報告があったが、前回の会議においてリモートにより実施した回があったと報告を受けた。今回はリモートで実施していないのか。</p>
<p>図書館長</p>	<p>7月22日の第1回図書館講座は参加者61人中9人がリモートで参加したが、第2回講座においてはリモートを活用していない。</p>
<p>委員</p>	<p>肖像権の関係上、難しい点もあると思われるが、講演の内容を映像として残した資料はあるのか。</p>
<p>図書館長</p>	<p>現在、そのような資料は作成していない。</p>
<p>委員</p>	<p>視聴できなかった方も受講することができるので、今後検討いただきたい。</p> <p>その他、生涯学習課の公民館における事業数が異なっているように思う。中郷公民館や錦田公民館は事業数が多いと感じるが、公民館ごとの実施事業はどのように決定しているのか。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>現状、年間を通し、どういう形であれば効果的なのか積み上げて計画を立てている。四半期ごとで数のばらつきはあっても、年間ではそれほど変わらない。今一度、公民館ごと行事を見直し、偏りがあるようであれば調整していく所存である。</p>
<p>委員</p>	<p>山中城跡に係るガバメントクラウドファンディングは9月22日から始まっていると思うが状況を教えてほしい。</p>
<p>文化財課長</p>	<p>初日から3日間で3件の寄付があったが、その後は数が伸びず、非常に低調な</p>

<p>(続き)</p>	<p>状況である。例年どおりのPRは行っており、箱根旧街道を走るランニングイベントやその他シンポジウムなどにおいてチラシを配布するなど、地道なPRに努めている。今後も「日本遺産フェスティバル」にて文化財に興味のある方へ重点的にチラシを配布する予定である。4年ほど前の話だが、愛媛県今治市で開催した当該イベントに来た方から「去年、募金しました」と声をかけていただいた。返礼企画には参加できなかったが、名前が入った旗を立てた写真を送付したところ非常に喜んでおられた。「中国・四国地方にあるお城に興味のあるサークルの方にも声掛けします」とのありがたいお話しもいただいた。今後も可能な限り広くPRをしていきたいと考えている。ぜひ社会教育委員の皆さまにもお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>クラウドファンディングは継続的に実施した方が良い。例えば、あらゆる場所へチラシを配架したり、お城のファンだけでなく、「市の施設であればどこにでも」というぐらいの気持ちや行動が大切だ。</p>
<p>文化財課長</p>	<p>貴重なご意見は大変ありがたい。今後、あらゆる場所にチラシを配架したり、SNSでも関係者に発信するなどの対応をしていきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>ただ行うのではなく、目標を立て、色々な引き出しを使った方が良い。例えば商業・企業関係の資料に入れ込んだら約3,000社に届く。目標を決め、どうしたら達成するのか考える必要がある。やみくもにやっているだけでは集まらない。</p>
<p>委員 文化財課長</p>	<p>最初は目新しく感じるが、今後戦略を練る必要がある。 返礼企画を毎年行っているが、なかなか新しい企画を思いつかず、手詰まり感がある。普段入ることができない場所へ学芸員の解説付きで入ってみたり、まだ整備していないエリアに行ってみる、といった内容が現在の目玉となっている。様々な制約はあるが、返礼企画に来た方だけに何かをプレゼントできるような案も検討している。その他、担当職員筆頭にどのようなことができるかと知恵を絞っている。今年は今までと幾らか切り口の違った返礼企画ができるか練っているところである。</p>
<p>委員</p>	<p>委員の皆様も意見があつたら文化財課にお願いしたい。</p>
<p>委員 文化振興課長</p>	<p>文化振興課の12月10日「TATSU」ワークショップとはどのような事業か。 絵本作家である宮西達也先生による小学校3年生から6年生を対象にしたワークショップのことを指す。宮西先生のダンボールアートは非常に有名であり、ダンボールアートを使ったワークショップを計画している。</p>
<p>委員</p>	<p>その他、何か行うのか。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>読み聞かせを行った上でのワークショップである。</p>
<p>委員</p>	<p>各小学校にお知らせしているのか。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>当市のホームページや広報みしまで募集をしており、電話またはインターネットでの申し込みという募集方法をとっている。</p>
<p>委員</p>	<p>あるテレビ番組に、全国の城に詳しい少年が出演しているが、その少年の保護者が本市出身である。日本全国の城を巡り、本も出版しているほどである。本市に関係のある人物なので情報提供させていただく。</p>
<p>文化財課長</p>	<p>その少年については、山中城跡に係るガバメントクラウドファンディングにも</p>

(続き)	2回ほどご両親と一緒に参加いただいたと記憶している。日本に数ある城の中でも、山中城が一番大好きだと様々なテレビ番組で発信してくれた。
委員	文化振興課の報告で、佐野美術館の企画展の記載があるが、文化振興課と佐野美術館の企画展について何か関わりを持っているのか。
文化振興課長	本市から佐野美術館へ負担金として支出しており、共催事業という形式をとっている。
委員	企画の中身についても案を出したりしているのか。
文化振興課長	年に2回、佐野美術館と会議を開き、企画内容等についての報告や相談、協議を行っているが、専門分野についても検討すべく、学芸員の方にも出席いただいている。
委員	以前、広報みしまに同封されていた市民招待券を使用して佐野美術館へ行った際、三島市民でない方が当該招待券を使用して入館を試み、身分証の提出を求められている光景を目にしたので質問した所存である。
教育推進部長	経緯をお伝えすると、当該招待券については広報みしま4月1日号にて配布しているが、その招待券がいわゆるフリマアプリに出品されてしまったということがあった。これでは何のために市民の皆さまをご招待し、佐野美術館にご来館いただくかという目的が不明瞭になってしまう。我々も金銭的な取引になってしまうのではと懸念しているため、窓口において何らかの対策が講じられないかと模索しているところである。
委員	現在対策は何か行っていないのか。
教育推進部長	全力で検討しているものの、講じられていないのが現状である。
委員	講じるのであれば、徹底的に行ってほしい。「私の時は大丈夫だった」「私の時は駄目だった」では非難の声が上がってしまう。本来の目的が三島市民に対してのサービスであるのならば、必ず身分証を確認する必要がある。
文化振興課長	公平性を保ちながら検討して参りたい。
委員	楽寿園でも利用したが、身分証の提出はなかった。
委員	三島市から転出された方の無料招待券の利用についても検討が必要ではないか。
教育推進部長	方法論として色々な観点から検討していかななくてはならない。一例として、将来的には電子チケットの利用により違反を防ぐことができるのではないかと考えている。
委員	来年の4月に反映できるか。
教育推進部長	その時期での導入は困難な点もあるため、引き続き不正利用に関して対策していく。
<p>(2) 令和5年度生涯学習功労者表彰について</p> <p>生涯学習課長より資料に沿って説明</p> <p>満場一致により功労者決定</p>	

	<p>(3) 委員報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月19日(水) 令和5年度第1回三島市郷土資料館運営協議会 文化財課長より説明 ・ 8月18日(金) 令和5年度東部地区社会教育委員等研修会 委員より説明
<p>4 報告</p>	<p>文化財を用いた社会教育への取組について(文化財課より) 文化財課長より資料に沿って説明</p>
<p>委員</p>	<p>(質問)</p> <p>他の機関や関係部署と連携しているため、継続性という部分で難しいとの報告があったが、そういった場面でどうしたらできるかと考える必要がある。「みしまっこ体験塾」では3年間という縛りがあると思うが、他の事業であれば実施できる可能性も含んでいる。更なるアイデアを追及いただきたい。</p>
<p>文化財課長</p>	<p>現在、新たな部署へ話を持ち掛けている。環境問題を考慮しながら文化財を維持するという案だが、思うように進んでいないのが現状だ。健康づくり課主催事業であるノルディックウォーキングにおいて石畳の上を歩いたり、スマホアプリを活用したランニングイベントにおいて山中城まで走るなど、文化財の要素を取り入れて実施している。また、以前、アスルクラロ沼津の試合で実施したサンクスサポートデーにてチラシを配布したが、100枚配布するのが精一杯だった。やみくもに事業に対し首を突っ込んでいくのではなく、しっかりと策を練らないと、なかなか成果を上げづらいということを強く感じている。</p>
<p>委員</p>	<p>その他、高校生に街中の活性化について考えてもらうということは、日本全国どこでも行っている。三島市の武器でもある日本遺産ということについて考えてもらうことは可能性がある取組だと思う。検討を祈っている。</p>
<p>5 その他</p>	<p>教育推進部長より挨拶</p>
<p>6 閉会</p>	<p>会議終了</p>